

平成 24 年度第 1 回うらやす市民大学運営委員会議事要旨

- 日 時 : 平成 24 年 5 月 18 日 午後 3 時 00 分～4 時 30 分
- 場 所 : うらやす市民大学受講室
- 出席者 : 古在委員長、山内副委員長、宮崎委員、阪本委員、早坂委員、高橋委員、豊田委員、山本委員、中山委員、石川委員、伊藤委員
- 事務局 : 金子市長公室参事、村田協働推進課長、増田協働推進課課長補佐、岩波事務長、杉山副主幹、高柳主任主事

■会議次第 :

- (1) 開会
- (2) 委員長挨拶
- (3) 議事
 - ・平成 24 年度授業科目応募者の選考方針について
 - ・その他
- (4) 閉会

■議事概要 :

●平成 24 年度授業科目応募者の選考方針について

□事務局説明

・第 5 期の募集状況と選考方針について

応募者数は 266 人、前回比 22 名の増。内訳は新規が 76 名、継続が 190 名となっている。地域別では、元町 34 名、中町 174 名、新町 52 名、市外 6 名で、割合は元町 1 割、中町 7 割、新町 2 割となっており、前回と大きな違いはない。また、男女比は、男性が 176 名、女性が 90 名で、全体の 2/3 が男性、1/3 が女性で、前回同様である。年齢別は 60 代から 80 代の方が全体の 86.8%、20 代から 50 代の方が 13.2%となっており、こちらもあまり変わらない状況である。

応募傾向は、在校生 190 名の内訳として、平均年齢 67.9 歳、男性 135 名、女性 55 名となっており、1 期生 101 名、2 期生 44 名、3 期生 18 名、4 期生 27 名で、継続率は 1 期生 58%、2 期生 37%、3 期生 40%、4 期生 47%で、1 期生の方の継続率が一番高いことがわかる。5 期申込者の平均年齢は、62.2 歳、男性 41 名、女性 35 名で、最年少者は 22 歳（これまでの最年少は 27 歳）あった。

科目別応募状況は、申込者が一番多かった科目は「うらやす歴史未来学を学ぶ I－基礎編」の定員 40 名に対し 64 名。また、申込者が一番少ない科目は「地球に優しいうらやすの環境を守り創る」の定員 25 名に対し 10 名であった。今回は初めて種別ごとに分け「出会い」5 科目は定員 200 名に対し 209 名、「気づき」4 科目は 105 名に対し 54 名、「担い」

8科目は200名に対して176名の応募となっている。新規の方は延べ数で「出会い」科目が49名、「気づき」科目は17名、「担い」科目は52名となっている

続いて学生選考については、運営委員会後に学長、副学長に選考していただき、通過した方に受講資格を与えることとなる。

以降は、事務局案であるため、ご検討いただきたい。

申込者が定員に満たない科目については、全員受講となる。定員を超える科目については、コーディネーターと調整しており、「歴史未来学Ⅰ－基礎編」以外の科目は申込者全員が受講となる。「歴史未来学Ⅰ－基礎編」は定員に対して大幅に申込者が超過したため、抽選となる。抽選に当たり、新規申込者、市内在住・在勤・在学者を優先としたい。

2次募集は、定員に余裕のある科目について行いたい。子育ての講座は保育の人数の関係で追加募集は行わないが、それ以外で定員に満たない科目については、追加募集を実施したい。締め切りは、11月開講講座は10月31日、9月開講講座は8月31日、6月開講講座は6月8日とし、先着順としたい。

今回の第5期学生募集にあたっては、応募者300人、科目定員500名という高い目標を持ち、学生会の積極的な協力を得て二人三脚で行ってきた。目標は達成できなかったが、応募状況を見ると、科目定員の85%となっており、引き続き市民大学への高い関心を寄せていただいていると認識している。

・学生会からの報告

委：学生会として新年度の学生募集に力を入れてきた。4月に行われた植木まつりに2日間参加し周知した。なかなか応募につながらなかったが最後の1週間で結果が出た。学生会としても若返りを図りたい、現役世代を入れたいと思い4月19日には前年度の科目報告会を開催し、20日には新規学生の説明を行い2日間で20名の新規の方が参加した。

1期の継続学生が多いというのはいいが、ある意味新陳代謝の必要がある。土日や夜の開講はないのかと尋ねられることがあり、過去には行ったこともあるが、今後の検討課題だと思う。学生会との協働運営のような形にして、そのあたりを学生会が担えればいいと思う。

学生会企画のオープン講座を15講座、現在行っており、現役の学生以外の方にも参加していただいている。

□主な意見（委員長：長、委員：委、事務局：事）

長：選考方法について意見のある方

委：土曜日の開講科目はいくつあるか。土曜開催の科目には現役の参加者は多いか。

事：土曜日の開講科目は3科目で、「経済」5人、「健康づくり」2人、「里海」が2人の方が現役ではないかと思われが、土曜開催だからといって、現役世代が多いとはいえない。

委：今期は、開講式が6月に行われ、11月からスタートする講座もあるが、この間に何も無いのはいかがなものか。全講座を6月スタートにし、終了時期は回数などにより様々というような検討をしてはどうか。学生会の一体感が図りにくいのではと懸念している。

事：受講室などの関係で、すべての講座を6月スタートでは実施が難しいと事務局が判断させていただいた。来季の課題として、授業開始前のオリエンテーションを6月に実施するなどの工夫をしたいと考えている。

委：2次募集のPR方法はどのようにするのか。

事：決定通知の案内の中に案内したいと考えており、学内での募集である。一般に広報は行わない。必須科目の日程が決まっているので、その後に一般の受講者を受け付けるのは難しい。266人の募集いただいた学生を対象にしたい。

委：新しく手を挙げるのは認めないのか。

委：私は、そのような方がいらっしゃるのですが、受けてもいいと思う。

事：今までの募集で一番申し込みが多いのは、友人などの口コミであることは承知しているが、講座が始まった以降は難しいと思うが、運営委員会の方向性として、柔軟に考えていくということであれば、今後考えていきたい。

長：定員に余裕があり、初回開講日までに新たな受講希望者（新規及び更新）があった場合は、選考を経て受け入れることとする。（選考方法は作文を学長、副学長に見ていただく。）

事：1年通じて行う講座はシニアにとって少し長いという声をいただいている。5、6回の短期集中の講座を設けるなど、バリエーションをつけたカリキュラムを来年度は考えていきたい。

委：来年度の募集にあたっては、今回の状況をもとに早い段階から、方法等を検討する。

委：公民館のコミュニカレッジ（以下、コミカレという。）と重複した内容も6つぐらいある。コミュニカレッジは高齢者大学とも言っていて、受講対象が60歳以上で受講者も重なる。市民大学とコミュニカレッジが一体になればよいのではないか。

委：市民大学とコミュニカレッジとでは設立目的が異なる。棲み分けができていると考えるが市民には同じように見えるかもしれない。コミカレは、カルチャーの要素が強いため、物足らなくて市民大学に更なる学習の場を求める人もいる。

事：コミカレの定員は60人と少数で、今年は50人の参加で行われている。市民大学は内容の濃いもので市民活動や社会貢献につながる内容であり、コミカレと市民大学の両方で学んでいる方も多い。事務的には常に連携している。

委：確かに双方が近づいてきているので、あらためて棲み分けをしたい。どのようにしたら相乗効果が図れるか、考える必要がある。

委：もともと承知の上で行ってきた。市民大学は協働を目的にしている。市民からすると少し敷居が高いと思うかもしれないので、中には教養講座的なものも入れてあるが、そのあたりで疑問を持つ方もいると思う。

委：出会いや気づきもある。出会いから入っても、ゆくゆくは担いにつながればいい。

長：この話は、準備委員会の時から話し合われたことだが、再確認しないと年月が経つと曖昧になる。

委：あまり整理をしすぎず、両方に通っている人もいると思うので、どちらにとってもよくなればいい。

委：公民会の講座は行きやすいが、市民大学は敷居が高いと思っている方もいる。また、公民館ではなく市民大学で学びたいという人もいるので、ある意味、棲み分けはできているのではないかと。

委：市民大学とコミカレの両方に行っている人もいるのか。

事：両方通っている方は、コミカレの受講生の約3割は市民大学の学生である。公民館とも連携、情報交換をしている。

長：事務局も学生会も情報収集をして、競争相手ではないので、両方がよくなるような案を考えていきたい。

委：今回の作文は、かなり高いハードルになったように思う。

事：今回、作文を書くのが嫌だということで、何人かの方が申込みしなかった。

委：1年間を通じてPRを考えることが大事である。

委：講義が開始された後の途中の回からであっても、参加できるよう検討してはどうか。

長：来期の課題とし、今後議論したい。

委：学籍が終了し、卒業した人数を教えてください。このままでは在校生の年齢が70歳を超えてしまう。

事：1期から3期までの方で今回申込みのなかった方約100人が卒業したこととなる。

委：その方々が、また入りたいと思った時の対応は今後の検討になるのか。

事：今回の更新が2年となるので、再入学はその後5年なのか、今後運営委員会で検討していきたいと考えている。

次回第2回運営委員会開催日程は、平成24年7月27日（金）午後3時から市民大学受講室で開催。

以上